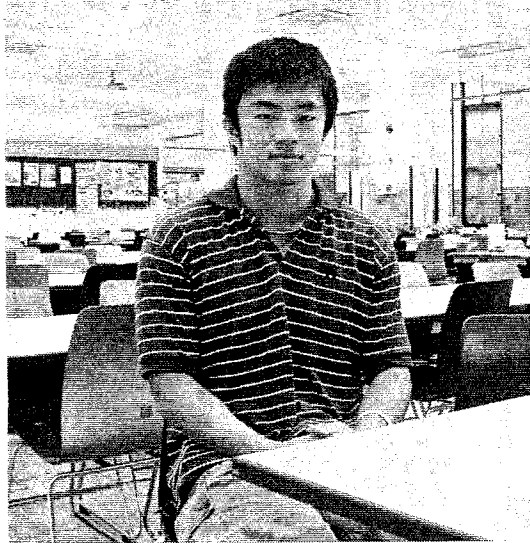


一部復帰2年目 飛躍を目指す アメリカンフットボール部

長尾至くん(工4年)

攻撃の要QB



秋季リーグ戦を戦う

経験の面で不安があった

— 昨年の秋季リーグ戦はいかがでしたか。

私達は三年前一部リーグで戦っていましたが、そのときに二部リーグに落ち、一昨年は二部リーグを経験しました。昨年は一部に復帰した最初の年であり、初めて一部を経験するメンバーが多く、戦力的には整っていたと思います。が、経験の面で不安がありました。不安の中、未熟なミスなどをしてしまい、僅差のゲームを落とし、しまったこともあり。今振り返ればもっといけたのではないかと思います。

視野が狭くなった

— 僅差の試合が多かったことは自信になりましたか。

僅差でしたがやはり負けてしまっただけの意味がありません。僅差ではあるものの、やはり大きな壁なのだと思います。

思い込んでしまっただけです。例えばパスを投げる際に、本当であればいくつか投げたコースの選択肢があるのですが、それが見えず、この人にパスを投げるしかないと思ってしまうので、去年の秋と変わりますが、結局負けてしまったという点では、昨年の秋と変わりがありません。勝ちきれなかったことは課題ですね。

— 視野は広くなってきましたか。

そうですね。試合をして経験を積む中で広がっていったと思います。

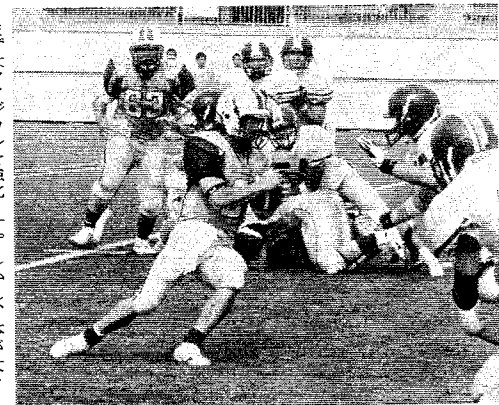
— 視野が狭くなるという点では、一部リーグでも通用すると分かり、自信になりましたか。

— 相手の試合に強い場合もありますが、相手に強いと

今年の経験が成長に

僅差の壁を越えたい

外の相手にはそれなりの試合が出来たと思います。しかしそうは言っても結局勝てたのは一橋だけです。自信になった面もありますが、結局負けてしまったという点では、昨年の秋と変わりがありません。勝ちきれなかったことは課題ですね。二部や三部リーグのチームと対戦したのは、選手層を厚くしようと狙いがありました。しっかりと試合をしながらも、下級生を試合に出場させてあげたいです。アメフトは経験が大切で、下級生に経験を与えることが出来たという点だけでも大きかったと思います。QBは私以外にも出てきていて、その選



春季オープン戦、京大戦でランプレーを見せる長尾選手

まずフィジカルを強化することです。これは春から取り組んできたことで、出てきていて、その選

QBの価値というのは、チームが勝つかどうかで決まります。やはりチームの勝利にこだわっていきたいと思います。

— 長尾選手はどうしてアメフトを大学でしようと思ったのですか。

高校では硬式野球部でしたが、それ以前は米國に住んでおり、小六から中二までは、アメフトをやっていた経験があります。大学に入ったときはアメフトが野球をするか迷ったのですが、アメフトのほうが日本一を目指せると思い、アメフトをする決意をしたのです。

— アメフトというスポーツはどのようなところが魅力だと思えますか。

私はアメフトを見るのも好きです。一番面白いのは激しくぶつかり合っている様子ですね。それからランプレー、ワンプレーが区別されていて、大事なプレーの前に緊張感があるのも面白いですね。

— ありがとうございます。

ウテイングをうまく活用できるものになっていて、思

勝ちきれなかったのは課題

— 今年の春のオープン戦はいかがでしたか。

オープン戦では法大、京大、一橋、早大といった一部リーグの中でもレベルの高いチームと対戦する一方で、二部、三部リーグの格下のチームとも対戦しました。

一部リーグの上位校に対しては、どこまで自分たちの力が通用するのを試す意味で、食欲に勝利を求めていきました。法大はやはり強かったですね。法大以上のことですか。

<秋季リーグ戦日程>

日付	対戦相手	キックオフ	場所
9/8(土)	明大	17:15	アミノバイタルフィールド
9/23(日)	慶大	17:15	アミノバイタルフィールド
10/7(日)	中大	10:45	川崎球場
10/14(日)	日大	16:30	アミノバイタルフィールド
10/27(土)	関学大	13:45	アミノバイタルフィールド
11/10(土)	筑波大	16:30	アミノバイタルフィールド
11/23(祝)	立大	11:00	アミノバイタルフィールド